

新学期を迎えて

茗溪塾塾長 長谷誠基

3月に入り公立高校の合格発表があり、残すのは国立大学の合格発表のみとなりました。中学受験・高校受験・大学受験それぞれに特有の大変さがあり、受験を終えられたご家庭の方は本当に大変だったと思います。中学受験は四谷大塚の調べで、過去最高の受験者数となりました。合格最低点も上昇し倍率が上がった学校も多くありました。高校受験では新しい学習指導要領に沿った問題がいよいよ出題されはじめ、過去問よりも解きづらい感じを受けた生徒も多かったようです。大学受験も共通テストに見られるように読む量も増え、高速で処理する力がますます必要になってきています。次の受験生になる学年はこれらを踏まえ、必要な準備を1年かけて積み上げていきます。あせらず1つ1つこなしていきましょう。

塾では3月から中学受験コース以外のすべてのコースが新学期を迎えました。気持ちも新たに勉強に向かっていく時期になります。そのとき、どの学年でも必要なのが前学年で理解が不十分な単元をできるだけなくしておくことです。

どの学年のどの教科も、以前に学習したものがベースになりますので、それがあまり理解できていないと、新しく習った部分も定着しないまま進んでいくことになります。これを繰り返していくと、大きな弱点科目を作ってしまうことになります。ですから、3月のうちに可能な限り、苦手克服に取り組みましょう。しかし、それを自分でやるのは結構大変ですし、かなりの意志の力が必要になります。そこで利用できるのが2つあります。1つめは各校舎で開かれている日曜学習ルーム(教室によっては土曜学習ルーム)です。各教室からの案内をご覧いただくと、追いつけ補習や弱点補強ルームなどがあると思います。この時間に参加してみましょ。この時間に行くと先生が声をかけてくれて、一緒に弱点克服に取り組んでくれるはずですよ。(また3月に新中2・中3生向けに個別対応講座を実施する教室もあります。詳しくは教室からの案内をご覧ください。)

2つ目は春期講習です。春期講習はどの学年も全学年までの復習がメインテーマになっていますので、それを受講するだけでも、今までの総復習をすることができます。授業の中で行う確認テストなども利用して、弱点克服に役立ちます。

新学期新しい目標や自分の志望校に向かって、良いスタートを切るためにも、まずは前学年の復習に取り組んでみましょ！